



2022(令和4)年10月例会ご案内

<檀原神宮前～新沢千塚古墳の史跡めぐり>



久米寺や新沢千塚古墳群など、檀原市を代表する史跡を巡ります。時節柄コンパクトなルートにまとめています。

日 時 2022(令和4)年10月9日(第2日曜日)

コース

近鉄・檀原神宮前駅/西改札出口[集合場所] ～～ 久米寺 ～～ 益田池堤跡
～～宣化天皇陵 ～～ 新塚千塚古墳群(昼食) ～～歴史に憩う檀原市博物館
(見学) ～～ バス停・シルクの杜(一次解散場所 一次解散後檀原神宮前駅ま
でバス乗車か徒歩を選択) →→ 近鉄・檀原神宮前駅 [解散場所]

_____ 印 トイレ所在地

- ◆ 行 程 : 約4km。新塚千塚古墳群古墳以外は平坦な舗装道路を歩きます
- ◆ 全員集合場所・時間: 近鉄・檀原神宮前駅(西改札出口)10時00分
- ◆ 解散場所と解散時間:
一次解散 バス停・シルクの杜 ※バス:午後14:23発檀原神宮駅行有
解散場所 近鉄・檀原神宮前駅 午後15:00頃
- ◆ 服 装 : 水筒、雨具など持参。歩きやすい靴・服装で
- ◆ 食 事 : 弁当持参 途中にコンビニあります。

※ コ ロ ナ対策

- ・マスク着用・密集回避をお願いします。
- ・発熱・体調不良の方は参加をご遠慮ください。
- ・当日集合場所で検温を実施します。その結果が 37.5 分 以上の方は参加を控えていただくこととなりますのでご理解とご了承をお願いいたします(体温を確認の上おいでください)

- ◆ 雨天中止:前日の午後8:45分のNHKニュース中の天気予報で、奈良県北部の午前中の降水確率が60%以上であれば中止。
※不明の時は会長(携帯080-6112-3406)まで。
- ◆ 集 金:歴史に憩う橿原市博物館 入館料@300円、団体割引30名以上@270円(この場合は@200円集金)

《交通機関のご案内》

※生駒線利用の方は次の電車でおいで下さい

近鉄 生 駒 駅	↓	8 : 2 2分発	王寺行きに乗車
〃 菽 の 台 駅	↓	8 : 3 1分発	↓ ↓ ↓
〃 東 山 駅	↓	8 : 3 3分発	↓ ↓ ↓
〃 元 山 上 口 駅	↓	8 : 3 5分発	↓ ↓ ↓
〃 平 群 駅	↓	8 : 3 8分発	↓ ↓ ↓
〃 竜 田 川 駅	↓	8 : 4 0分発	↓ ↓ ↓
〃 王 寺 駅	↘	8 : 4 7分着	下車、乗換
〃 新 王 寺 駅	✓	9 : 0 0分発	西田原本行きに乗車
〃 西 田 原 本 駅	↘	9 : 2 0分着	下車、乗換
〃 田 原 本 駅	✓	9 : 3 3分発	橿原神宮前行き普通に乗車
〃 橿 原 神 宮 前 駅	↘	9 : 4 7分着	下車、集合

◇◇◇ 大阪方面から

大阪阿部野橋駅8:54発／橿原神宮駅9:52着の橿原神宮前行き準急でおいで下さい。

◇◇◇ 近鉄奈良方面から

近鉄奈良駅8:55発／大和西大寺駅9:01着の急行に乗車、西大寺駅9:09発／橿原神宮前駅9:47着の普通に乗車し、橿原神宮前駅ホームで平群グループに合流。

9月例会報告<9月11日(日) 畝傍山周辺の史跡をめぐる>



榎原神宮西口駅にて会長挨拶
と行程説明

立秋(9月7日)も過ぎたのに毎日30度を超える真夏日が続いています。前日夕方の豪雨にもかかわらず、当日も青空が広がり暑さ対策が心配される中、起点の榎原神宮西口駅を出発しました。

今回は榎原市のシンボルである名勝大和三山の一つ畝傍山麓に点在する神武天皇陵や欠史八代と言われる第2代^{すいぜい}綏靖天皇陵、第3代安寧天皇陵、第4代^{いとく}懿徳天皇陵を訪れました。

最初に訪れた懿徳天皇陵(第4代)では、「古来、イトクの森古墳が懿徳天皇のものではないかと考えられていたが文久3年(1863)に現在地がその墳墓として治定された」との説明がありました。

蚊の大軍に襲われた安寧神社は、元々安寧天皇をご祭神としてアネイ山に鎮座していましたが、江戸時代の修陵の際に安寧天皇陵に治定されたため現在地に移されたということでした。次に寄った^{みほとい}御陰井は安寧天皇の陵号の由来になった古井戸ですが土地の人も知られていなく、会長が下見に2度訪れ吉田町の集落内でやっと発見したものでその苦労話が紹介されました。



懿徳天皇陵にて



御陰井



安寧天皇陵にて

安寧天皇陵(第3代)は、アネイ山と言って江戸時代から安寧陵とされていましたが文久3年に治定されたことや前方後円墳風になっているが古墳かどうかは不明との話がありました。ここで会長は体調不良となったため、急遽救援車を待つことになり介護の役員2名を残し本隊は計画通り出発することになりました。

次の目的地畝傍山口神社では、祭神が気長足姫命(神功皇后)・豊受比売命・表筒男命の3柱であることから大阪の住吉大社との関係が伺え、特殊神事として2月と11月に行われる「^{はにつち}植土神事」は住吉大社での祭典に使われる土器をつくるための土を畝傍山山頂で採取する神事であり、住吉大社の



畝傍山口神/社昼食風景

宮司が来られるとのことでした。また境内には陰陽石があり、祭神の神功皇后にちなんで子宝・安産祈願の神として信仰が深いそうです。ここで昼食休憩をとりました。

次のスイセン塚古墳は第2代綏靖天皇の陵墓という伝承の墳墓でスイゼイがスイセンに転訛したのではないとも言われていますが、これまで発掘がされておらず見学時も墳墓の形が分からないような荒れた状態でした。宮内庁治定の陵墓としては神武天皇陵の少し北にある桃花鳥田丘上^{つ き だのおかえのみささぎ}陵^{つ き だのおかえのみささぎ}があてられているとの補足説明がされました。

慈明寺では、ご本尊の椿井仏師作の十一面観音菩薩立像を拝観したかったのですが、堂内が暗いのと窓ガラスに反射してお姿が確認できなかったのは残念でした。

また、会員からは平群町にも椿井廃寺にあった十一面観音立像(宿院仏師作)が残っているとの話が出ていました。

次の大師堂では、本堂のそばにある弘法大師ゆかりの井戸水で喉をうるおして一息つき境内を見学しました。境内のまわりは「弘法大師ゆかりの井戸」の幟が立ち、弘法大師の石仏がたくさん並んでいたことや「重層宝形造」というめずらしい本堂が印象的でした。

ここで、会長の体調が回復されて橿原考古学研究所付属博物館で待つとの情報が入り、そちらへ向かうことにしました。



大 師 堂

最終目的地である橿原考古学研究所付属博物館では会長たちと無事合流し全員で館内を見学しました。この日は博物館のリニューアルオープン後初の発掘調査速報展の最終日にあたり、常設展示とともに著名な古墳の出土物が一堂に見ることができ有意義な時間を過ごすことができました。この後畝傍御陵前駅にて解散しました。

参加の皆さんお疲れ様でした。

[参加者19名]

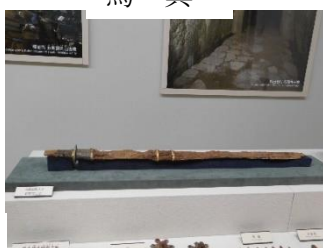


巫女埴輪

鳥土塚古墳出土品



馬 具



金銀装飾太刀



甘日山銅鐸

みんなのひろば

奈良県難読地名《続き》

前回はかなり難問でしたね。今回は少しなじみのある地名もありますよ。

《問題》

- 奈良市 ①京終 ②平城山 ③山稜町 ④三碓
- 宇陀市 ⑤菟田野 ⑥麻生田 •橿原市 ⑦膳夫町 ⑧地黄町
- 香芝市 ⑨狐井 •葛城市 ⑩忍海 •桜井市 ⑪忍阪 ⑫百市
- 天理市 ⑬和爾町 ⑭庵治町 •大和郡山市 ⑮今国府
- 大和高田市 ⑯神楽 ⑰土庫
- 生駒郡平群町 ⑱榎原 ⑲栴原 •斑鳩町 ⑳五百井
- 北葛城郡王寺町 ㉑送迎 ㉒九度
- 高市郡明日香村 ㉓栢森 ㉔檜前

《回答》

- ① きょうばて②ならやま③みささぎちょう④みつがらす⑤うたの⑥あそだ
⑦かしわてちょう⑧じおちょう⑨きつい⑩おしみ⑪おっさか⑫もものいち
⑬わにちょう⑭おうじちょう⑮いまご⑯じんらく⑰どんこ⑱ふしはら⑲しで
はら⑳いおい㉑ひるめ㉒くど㉓かやのもり㉔ひのくま

※この資料は東京奈良県人会のホームページを参考にしたものですが、平群町の⑱ふしはらと⑲しではらの読みが逆になって間違っていました。そのくらい難読なのですね。

